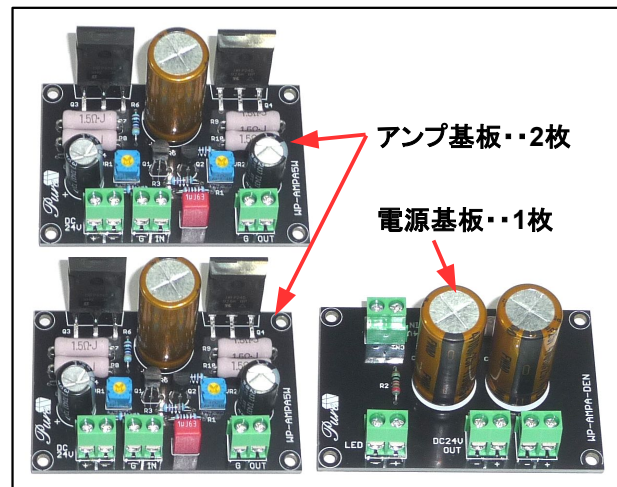


MOS-FET A級動作 パワーアンプ基板完成品セット

WP-AAMP8W-SET



- 憧れの「A級動作」パワーアンプの製作に必要な基板完成品をセットにしました
- パワーアンプ基板2枚と電源基板1枚で構成されています
- 最大出力 8W+8W 定格出力 4W+4W
- 電源 DC24V 2.5AのACアダプタを推奨
- 本キットは中～上級者を対象にしています

●主な仕様

- ・電源電圧 DC24V (2.5A以上を推奨)
- ・出力 8W+8W (8Ω 負荷 1kHz THD10%)
4W+4W (8Ω 負荷 1kHz THD2%)
- ・負荷インピーダンス 4～16Ω
- ・基板寸法 幅72mm 奥行き47mm 高さ33mm
(アンプ基板 電源基板とも)
- ・アンプ基板には電源ON-OFF時のポップノイズ防止回路を搭載

●ご注意

- ・**パワーMOS-FETには必ず「放熱器」を装着してください。**
(推奨放熱器は裏面に記載しています)
A級動作アンプは常時フルパワーの電力を消費します。
そのため、推奨放熱器を装着しても約60度まで上昇します。
(室温20度するとき)

●お断り

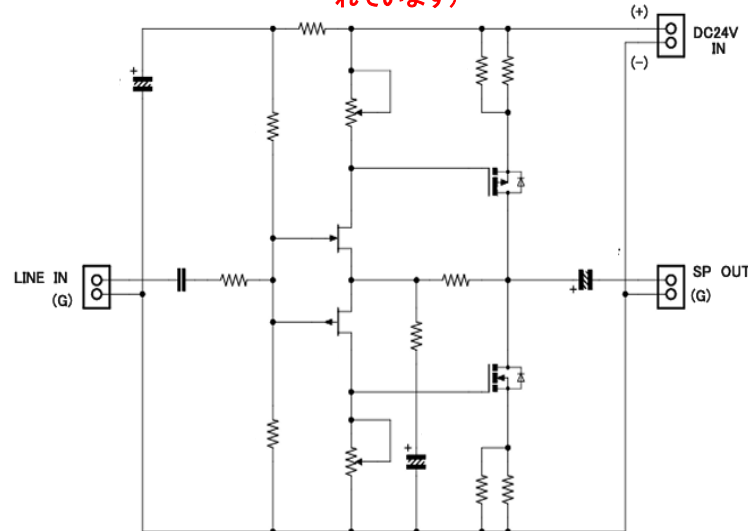
- ・本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合がありますあらかじめご了承ください。
- ・本製品は半完成品です。
- ・完成品でない製品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。
- ・完成後はお客様(組立作業)ご自身の責任のもとでご使用ください。
- ・本製品は機器への組込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。また、本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。

販売元:共立電子産業株式会社
共立プロダクツ事業所

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26
TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448

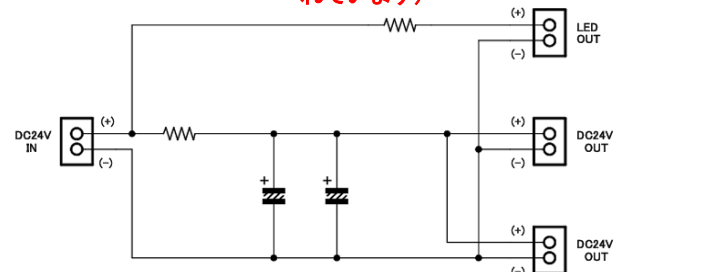
●アンプ基板の回路図

一部非公開です
(商品に添付の説明書にはすべて記載されています)

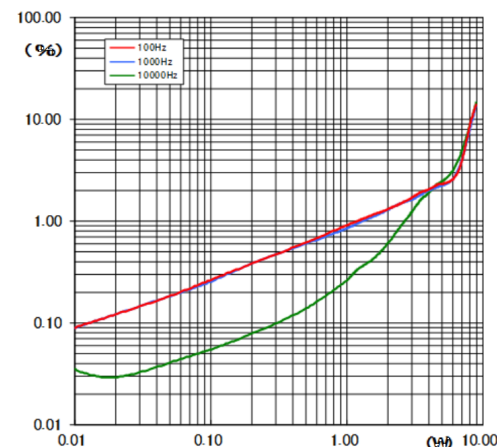


●電源基板の回路図

一部非公開です
(商品に添付の説明書にはすべて記載されています)

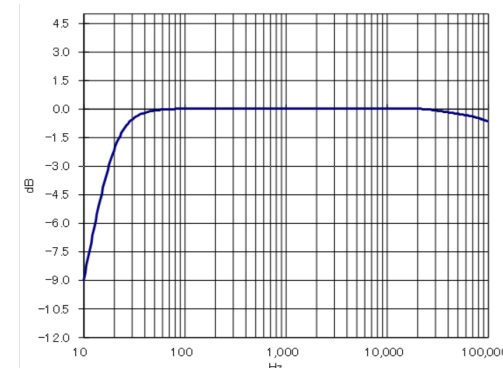


●出力対歪率特性実測例



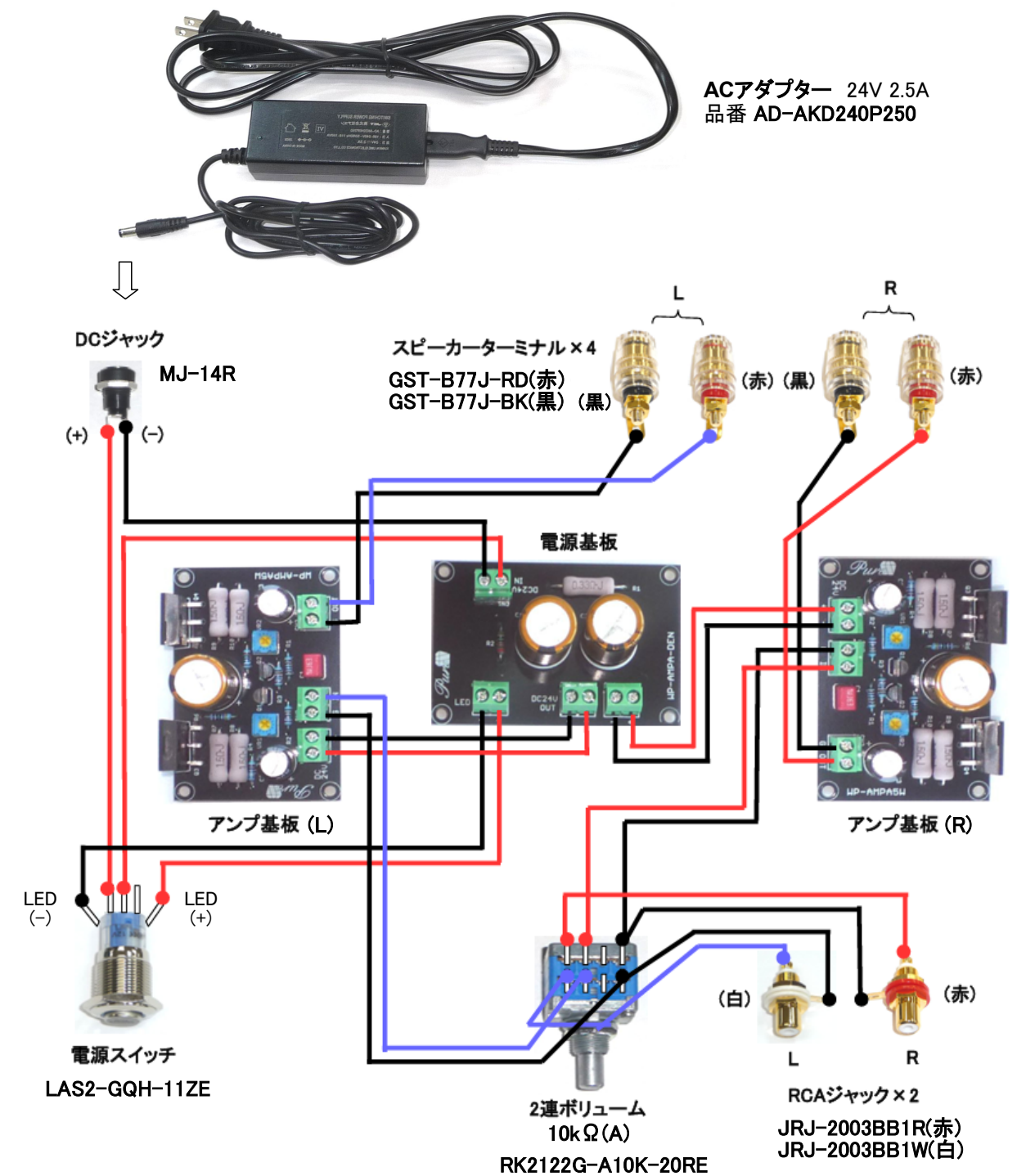
歪成分は偶数次の高調波が中心ですので耳につかず、3極管シングルアンプのような美音を楽しむことができます

●周波数特性実測例

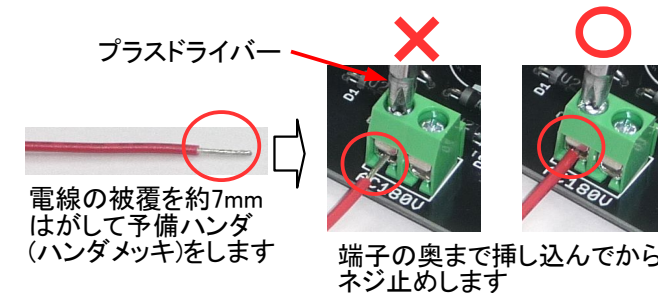


1kHzを基準にして-3dBの範囲は18Hz～100kHz以上になります

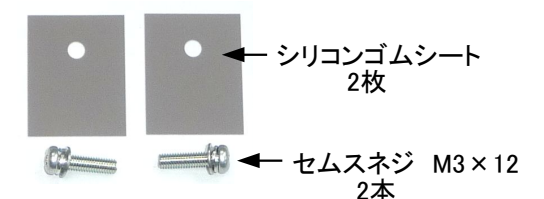
●基板および周辺パーツとの配線図 (アンプ基板と電源基板以外はすべて別売です)



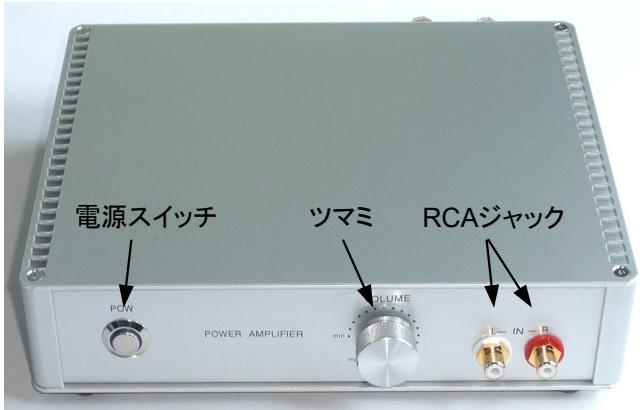
●ネジ端子への接続のしかた



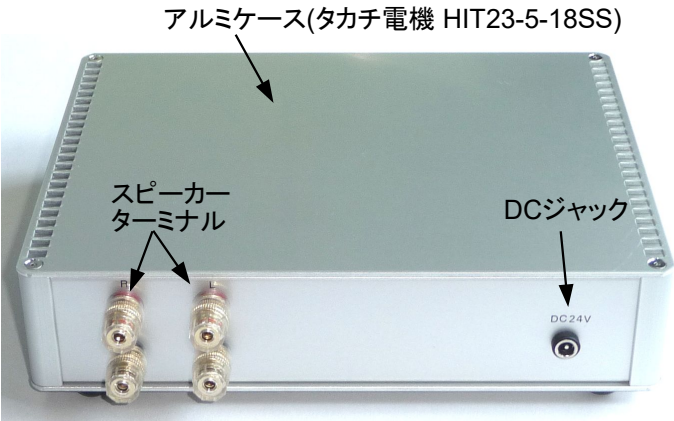
●アンプ基板の付属品 (基板1枚あたり)



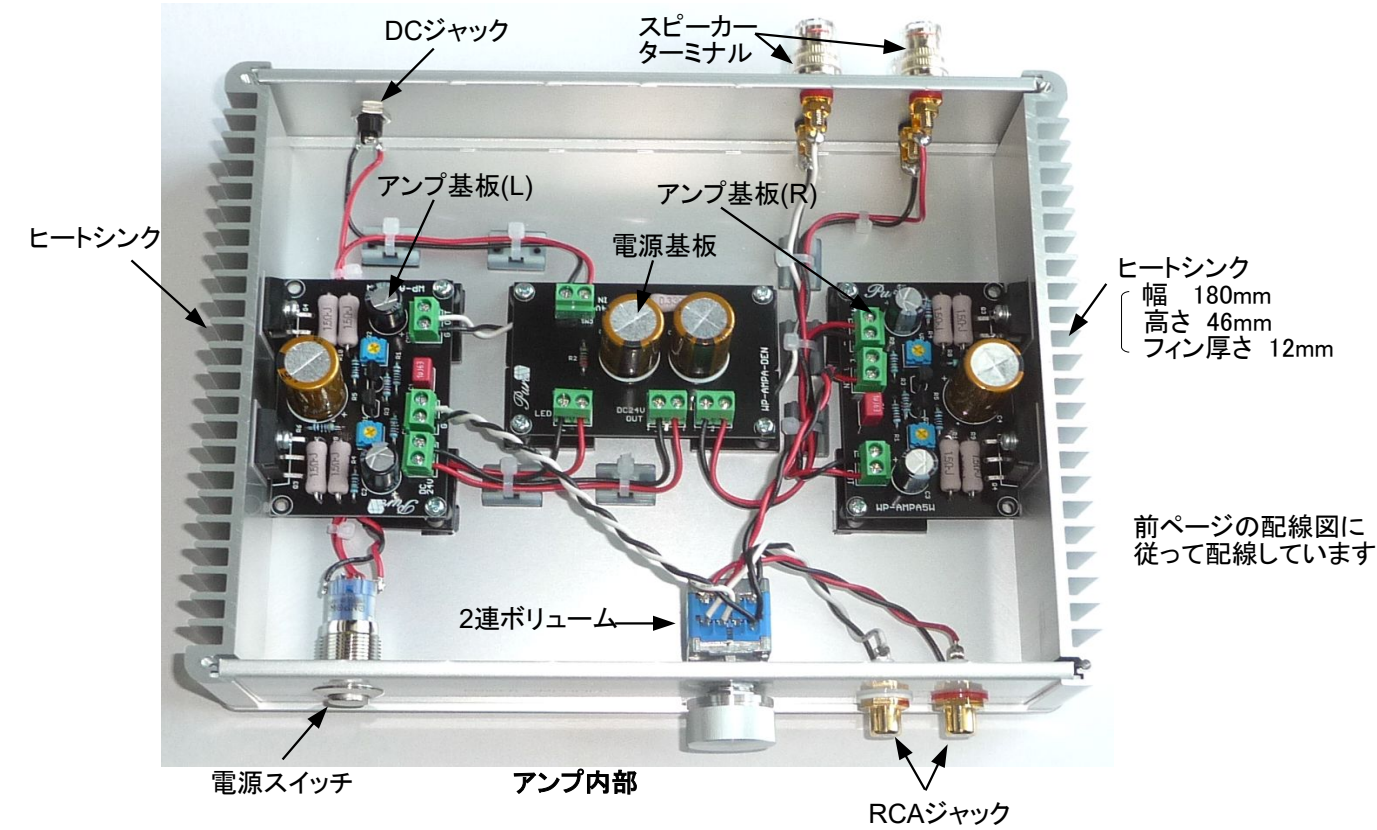
●ステレオパワーアンプの製作事例 (アンプ基板と電源基板以外はすべて別売です)



アンプ前面から見たところ



アンプ後面から見たところ

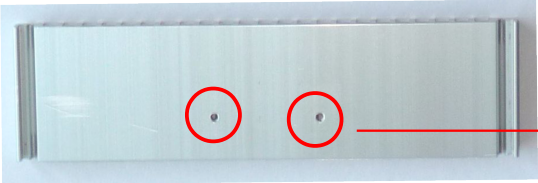


ヒートシンク
幅 180mm
高さ 46mm
フィン厚さ 12mm

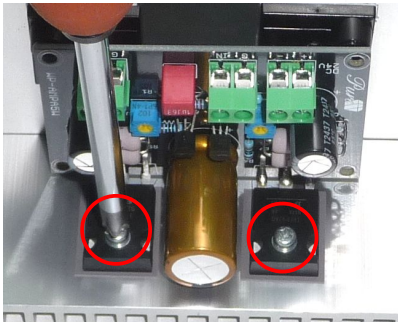
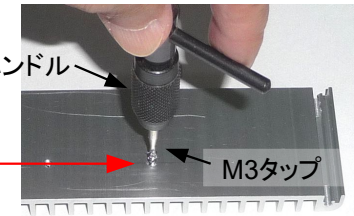
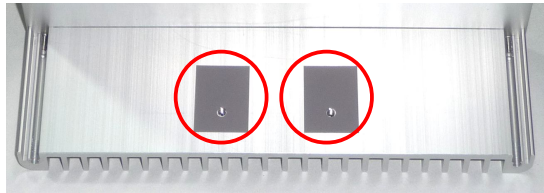
前ページの配線図に従って配線しています

●「MOS-FET」を「ヒートシンク」に取り付けます (MOS-FETは発熱しますので必ずヒートシンクにネジ止めしてください)

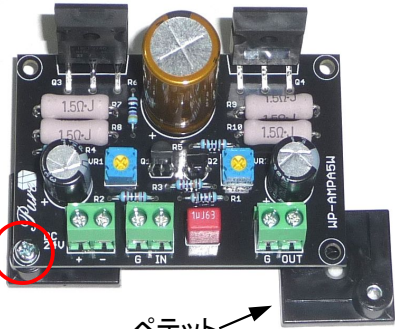
①ヒートシンクにM3の雌ネジを切ります



②ネジ穴に合わせてシリコンゴムシートを置きます



●アンプ基板と電源基板は「ペテット」で底板に貼り付けています



ペテットの代わりにスペーサ(長さ10mm)を使用してもOKです (アンプ基板の取付穴は4カ所ありますがネジ端子側の2カ所だけを使用します)

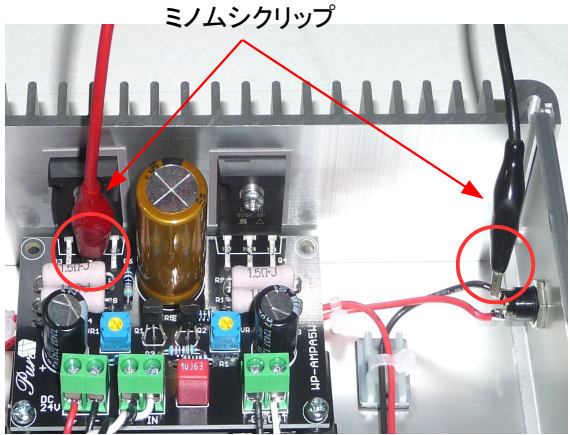
●お好みのケースを使用されるときはこの製作事例を参考にしてください

●アンプ基板の調整のしかた

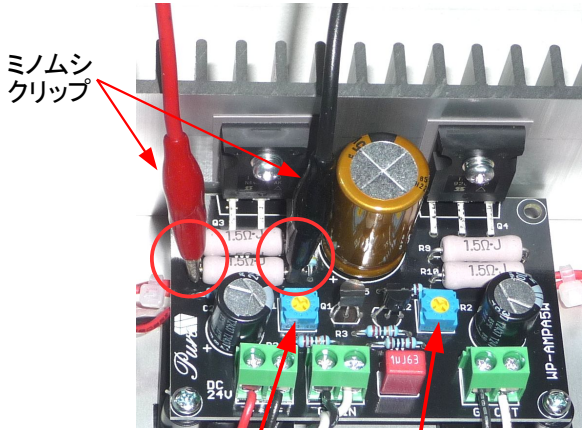
本機は「ディスクリート」構成の半導体アンプですので、「DCバランス」と「アイドリング電流」の調整が必要です。

- ①デジタルマルチメータ(もしくはテスター)を2台準備します。
- ②電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- ③デジタルマルチメータ(以下DMMと表記します)のテストリードの先に「ミノムシクリップ」を接続します。最初にアンプ基板(R)から調整します。

- ④「DCバランス」調整の準備をします。
写真のようにMOS-FETの中央のピンを赤色(+)のクリップで挟みます。
次にDCジャックの(-)端子を黒色(-)のクリップで挟みます。



- ⑤「アイドリング電流」調整の準備をします。
写真のように1.5Ω 3W抵抗の両端のリード線をクリップで挟みます。



半固定抵抗(A) 半固定抵抗(B)

一部非公開です
(商品に添付の説明書にはすべて記載されています)